

## 平成 27 年度 第 3 回宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事要旨

日時：平成 27 年 9 月 26 日（土）14 時～16 時 20 分

場 所：市役所 8 階 大会議室

出席者：委員 10 名 事務局等 7 名

傍聴 4 名 報道関係者 3 名

### ○市長との意見交換

委員長：総合戦略の策定後、フォローアップをどのように進めていこうとしているか。

市 長：これまでの牽引者は地方自治体だったが、これからは市民の皆さんと自治体の役割を明確にし、市民や NPO とも協働して取り組む必要がある。また、進捗管理は市だけでなく、外部委員をいれるなどの検討が必要であると考えます。

委 員：2060 年の人口目標は、どのように考えているのか。

市 長：2060 年に約 15.3 万人を目標としている。

委 員：地方創生における金融機関の役割は、資金供給という関わりと、情報という関わり方がある。企業と企業を繋ぐ、事業化に向けたアイデアを繋ぐなど金融機関のノウハウを、総合戦略の事業化に向けて活用してもらいたい。

意見としては、京都府がお茶の京都構想を出しており、それを受けて宇治茶の郷づくり構想がある。宇治市は、他の周辺自治体とどのような連携を考えているか。

市 長：宇治市として、広域行政の中で、先駆的に積極的に関わりながらオール宇治の体制で協力をしていきたい。

委 員：観光客が増えており、駐車場が不足している。今後どのようにしていくか。また、海外を含め、今後の観光入込客数について、どのようなターゲット・戦略を考えているのか。

市 長：駐車場問題については引き続き努力したい。また、今後の観光入込客数については、リピーターが少ないということを感じているため、宇治の特徴である歴史と文化の重層性を活かしながら、奥行きのあるものにし、リピーターを増やしていく必要がある。さらに、国では訪日外国人観光客 2 千万人を目標としており、そこに期待しながら、本市でも海外の観光客に力を入れる必要がある。いずれにしても、観光協会、商工会議所、宇治市のオール宇治でタッグを組んで誘客することが重要である。

### ○宇治市人口ビジョン・総合戦略（初案）について

初案に対する委員から意見

- ・宇治にホームステイや空き家の活用などにより長期滞在できる場所を作ってはどうか。
- ・農業で安定的収入を得る手法として高付加価値の野菜作りを支援するとよいのでは。
- ・宇治市の子育て施策は充実しているので、情報発信に力を入れるべきである。また、病院や保健所など様々な機関が有機的に連携し、情報提供する仕組みが効果的な情報提供となるのではないか。
- ・新居を構える若い世帯に対しての住宅支援策を行っても良いのではないか。

- ・ PR 動画を作るのであれば、海外に向けて発信するために多言語対応してほしい。
- ・ 動画が誰にも見られないものにならないよう、話題になるものを作ってほしい。
- ・ PR 動画は、観光や住む人など、対象によって分けて作成するとおもしろい。
- ・ 若者が将来に希望を持てるよう、良質な雇用を増やすことが必要である。また、雇用創出には、京都府との連携や京田辺市や城陽市などと横の連携をすればより効果的である。
- ・ ゆるキャラの認知度向上のために、センスの良い発信を行ってはどうか。
- ・ 総合戦略に掲げた施策の実現に向けて、PDCA をどのようにしていくのか具体的な検討が必要である。
- ・ 陶器で有名な炭山やアクトパルなどがある笠取など、山間部も含めて、滞在時間を延ばし、活性化することも考えられるのではないか。
- ・ オール宇治を実現するためには市民参画のための下地づくりが大事ではないか。
- ・ 草の根的な活動、例えば自治会や PTA などに職員が出席して意見を聞くことがあってもよいのではないか。
- ・ 宇治市の総合戦略で特徴的なところは、愛着の誇りや住みたい宇治の醸成といったところであり、ここに焦点を充てた取組を前面に出してはどうか。10 年、20 年、30 年先を見据えた子供に対する教育も大事である。
- ・ 交流人口を増やすために、面で観光ができるように取り組んではどうか。JR 奈良線の複線化にあわせて、ソフト面についても議論が必要だ。
- ・ 日本遺産として宇治市も含めた「日本茶 800 年の歴史散歩」が選定されており、これを活用した施策に取り組んでほしい。

以 上